

【令和6年度 主要事業一覧】

(令和6年12月末時点)

①事業名	②予算 (千円)	③具体的な施策(事業内容)	④目標	⑤取組実績(成果)	⑥今後の課題等	⑦担当
Ⅰの柱 誰もが地域で楽しむスポーツ・健康づくり						
Ⅰ ライフステージに応じた機会の提供						
(1)子ども						
■オリンピック・パラリンピアン派遣事業	1,058	パリ2024大会オリンピック・パラリンピック等に出場され、貴重な経験を有するオリンピック・パラリンピアンを小学校・支援学校に派遣し、実技指導や講話を通じて夢や希望を、次世代を担う子どもたちに伝える。	オリンピック・パラリンピアン の派遣:18校程度	オリンピック・パラリンピアン の派遣:14校(15名) ※1月末までに17校(18名) 予定		スポーツ振興課
■トップアスリート 小学校ふれあい 事業	0	府内小学校の授業に大阪スポーツコミッション構成チームの選手等をはじめ、トップ選手、指導者等を派遣し、児童との対話や技術指導等の直接的なふれあいにより、スポーツのすばらしさや感動を共有する。	協力チーム:18チーム、派遣校数150校、参加児童数:12,000名	協力チーム:14チーム、派遣校数118校、参加児童数:7,616名(予定)		スポーツ振興課
■府民スポーツ・レクリエーション事業(体力測定会・スポーツ体験会)	3,673	広く府民にスポーツを紹介し、実践する場を提供することにより、スポーツへの参加意欲を喚起する。 (内容) ・体力測定会:運動を始めるきっかけづくりとして、各種イベントやスポーツ観戦、大型商業施設等の来場者を対象に体力テストを実施。 また、WEBコンテンツ(おうちで体力測定)を活用し、測定結果に基づく運動指導を健康運動指導士等より行う ・スポーツ体験会:専門家の指導により、気軽に取り組める運動やトレーニング方法を体験できる機会を提供する。	体力測定会参加者数:1,400名 スポーツ体験会参加者数:6,300名 体力測定会+スポーツ体験会の同時開催で10回程度予定 (参考)府民スポーツ・レクリエーション事業への参加者:10,000名	体力測定会: 全10回実施予定(5回実施済参加者総数559名)。 スポーツ体験会:7月24日に大阪府体育研修センター(東大阪市)にて初回を実施(参加者数57名)。以降、体力測定会と同時開催で7回実施予定(4回実施済 参加者総数約800名)		スポーツ振興課
■子ども元気アッププロジェクト事業	938	スポーツイベントの開催やスポーツ教室、水泳授業等を通してトップアスリート等が、子どもたちに直接ふれあい実技指導を行うことで、スポーツへの興味関心をより一層高め、スポーツ・運動が「楽しい・好き」と感じる機会を設けることで、運動習慣の定着を図る。	イベント参加者へのアンケートによる回答で、肯定的な回答の割合90%を目標とする。	8市11校の学校へ水泳のコーチを派遣し、児童に直接指導。スポーツ教室は175名の参加があり、アンケートでは、94.2%の肯定的な回答を得た。EKIDEN大会へは、現時点で昨年度より多い52チームがエントリーしている。		保健体育課

■大阪府立学校 部活動指導員配 置事業	101,990	専門的な技術指導力を備えた指導者を必要とする学校に配置することにより、部活動の充実を図る。また、単独で生徒引率可能であるため、教員の負担軽減が期待できる。	希望するすべての学校への配置と、生徒が専門的な指導を受ける機会の充実、教員の時間的・精神的負担軽減を図る。	部活動大阪モデル:73校170部 大阪モデル以外:48校61名配置。		保健体育課
■社会人等活用 推進費	33,087	専門的な技術指導力を備えた指導者を必要とする学校に派遣することにより、部活動の充実を図る。	希望するすべての学校に派遣し、生徒が専門的な指導を受ける機会の充実を図る。また生涯にわたる文化・スポーツライフの育成を推進する。	府立学校114校に285名を派遣。		保健体育課
■ICT活用による 子どもの体力向上 事業	1,878	大阪府の子どもの体力・運動能力における状況の改善を図るべく、小学3・4年生を対象にICTを活用した大阪府独自のスポーツテストを実施。実施の前後に体力づくり推進計画(アクションプラン)を作成し、早期に授業改善を図る体制を構築することで体力向上を図る。	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点において全国平均をめざす。	小学3・4年生において大阪府独自スポーツテストを実施後、体力づくり推進計画(アクションプラン)を作成。各校において授業改善に取り組んだ。「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の体力合計点は、男子51.57点、女子52.55点だった。(全国平均:男子52.53点、女子53.92点)		保健体育課
(2)働き盛り・子育て世代						
■府民スポーツ・ レクリエーション事 業(体力測定会・ スポーツ体験会) 【再掲】	【再掲】					スポーツ振興課
■おおさか健活 10推進プロジェク ト事業	128,192	生活習慣の改善や生活習慣病の予防等に向け、府民に取り組んでいただきたい「10の健康づくり活動」として、『健活10(ケンカツテン)』の普及啓発に取り組む。 (内容) ・健活10ソング・ダンスの制作により、健活10の認知度向上を図る。 ・「健活10」ポータルサイトや府政だより(9月健康増進普及月間)等により、広報啓発を行う。	習慣的に運動に取り組む府民の増加を図る。	・OSAKA健活10オフィシャルソング『自分史上最高(G.O.A.T.)の明日(あした)へ』を10月に制作した。 ・「健活10」ポータルサイトや府政だより(9月健康増進月間)、ポスター掲示等により、広報啓発を実施した。		健康づくり課

(3) 高齢者					
■府民スポーツ・レクリエーション事業（体力測定会・スポーツ体験会・発表交流会）【一部再掲】	3,673	広く府民にスポーツを紹介し、実践する場を提供することにより、スポーツへの参加意欲を喚起する。 (内容) ・発表交流会：広く府民にスポーツ・レクリエーション活動を紹介し、実践する場を提供し、日ごろの成果を発表する。 ・生涯現役スポーツ賞：長年にわたりスポーツ・レクリエーション活動に親しみ、選手や指導者等としてその普及振興を図り、また健康で豊かな生涯スポーツ社会づくりに功績のあった個人・団体に対し贈呈する。	府民スポーツ・レクリエーション事業への参加者：10,000名 (うち発表交流会参加者数500名)	体力測定会： 全10回実施予定(5回実施済参加者総数559名)。 スポーツ体験会： 参加者総数 約900名)。 発表交流会： 10月27日に FULALI KYOBASHIで開催。府内スポーツ・レクリエーション団体による舞台発表やレクリエーションコンテンツを展開(参加者数：約500人) 生涯現役スポーツ賞： 金賞18名、銀賞57名、団体賞16団体に贈呈	スポーツ振興課
■全国健康福祉祭派遣事業	14,382	高齢者を中心とする国民の健康の維持、増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与する目的に、府内60歳以上の高齢者からなる選手団をねんりんピックに派遣する。また、その選手及び作品の選考会の開催を行うとともに、ねんりんピックの普及・啓発を行う。	全国健康福祉祭への大阪府代表選手派遣数：100人	派遣選手数：97人	介護支援課
■おおさか健活10推進プロジェクト事業【再掲】	【再掲】				健康づくり課
2 障がい者スポーツの推進					
■オリンピック・パラリンピアン派遣事業【再掲】	【再掲】				スポーツ振興課

■府立障がい者交流促進センター・府立稲スポーツセンターの運営	障がい者交流促進センター運営費 220,516 稲スポーツセンター運営費 44,139	・広域的・専門的な立場から、府立障がい者交流促進センター（ファインプラザ大阪）や府立稲スポーツセンターを運営し、今後の障がい者スポーツを牽引していく選手の養成や、障がい者スポーツの支援や振興を担う人材の養成・派遣を行うなど、競技力の向上と裾野拡大を図る。	各施設ともに少しでも多くの方に利用してもらうように、積極的に事業等を周知し、障がい者スポーツの推進を図る。	令和5年の利用者実績 ・FPO:132,797人 ・稲:28,857名 令和6年度の事業数(予定) ・FPO:11競技21大会、練習・体験会456回 ・稲:2大会、336回		自立支援課
■大阪府障がい者スポーツ大会開催事業	障がい者交流促進センター運営費 220,516の内数	・障がい者スポーツの競技性や障がい者一人ひとりの競技力の向上と裾野拡大を図るため、競技スポーツの祭典である大阪府障がい者スポーツ大会を開催する。	大会参加者数:1,000人	大会参加者数 個人競技:742人 団体競技:99名 合計 841名		自立支援課
■全国障害者スポーツ大会への選手団の派遣	障がい者交流促進センター運営費 220,516の内数	・大阪府障がい者スポーツ大会の成績優秀者等について、強化練習等の支援を行うとともに、全国障害者スポーツ大会に大阪府選手団として派遣する。	大阪府選手団が個々の力を十分に発揮できるように、強化練習会等の支援を行う。	強化練習会を各競技5回実施。選手96人、役員57人をSAGA2024へ派遣。選手団としてメダル合計100個獲得を達成		自立支援課
■大阪府障がい者スポーツ推進会議	0	支援教育課、保健体育課、スポーツ振興課、自立支援課、各障がい種を代表する府立支援学校校長、ファインプラザ大阪、稲スポーツセンター職員、大阪府障がい者スポーツ協会等で構成し、大阪府内における障がい者スポーツ活動の普及・推進を図り、障がい者の社会参加の促進に寄与するとともに、大阪府立支援学校におけるスポーツ活動の普及・推進を図り、障がいのある幼児・児童・生徒の健全な発達と社会参加の促進等について協議・情報共有の場として開催している。	・実施回数:年1回	令和7年2月7日開催(オンライン)に向けて準備中		自立支援課

3 スポーツの習慣化と健康づくり						
■府民スポーツ・レクリエーション事業（体力測定会・スポーツ体験会）【再掲】	【再掲】					スポーツ振興課
■運動・スポーツ習慣化促進事業	12,437	老若男女や障がいの有無に関わらず、運動・スポーツの無関心層や未実施層でも気軽に参加することのできる「ウォーキングフットボール」に着目し、「歩く」という本来の動作をスポーツに関連させることにより、日常生活において府民のスポーツに対する意識を高める。	イベントを通じた運動・スポーツ習慣化促進（運動・スポーツ無関心層の取込率等）	・全8回実施した。（参加者数240名）（台風等の影響により2回中止） ・親子参加や年代別など、様々なカテゴリーで募集したことで、本事業の狙いに合った、子育て世代・働き盛り世代をうまく取り込むことができた。 ・今回の参加者が、イベント参加で得たノウハウを生かし、後日、主催者となってウォーキングフットボールイベントを開催し、お互い参加しあうなど、新しいコミュニティ形成づくりに寄与できた。		スポーツ振興課
■おおさか健活10推進プロジェクト事業【再掲】	【再掲】					健康づくり課
■健康づくり支援プラットフォーム整備等事業	493,010	府民の健康づくりに対する意識の向上と実践を促すことを目的に、ポイント還元を活用した健康づくり事業を実施するためのICT基盤（プラットフォーム）を整備し、府民向けサービスとして「おおさか健活マイレージ アスマイル」を展開し、府民への普及を図る。	健康アプリ「アスマイル」の参加人数：60万人（令和6年度末時点）	健康アプリ「アスマイル」の参加人数：約43万人（令和6年12月末時点）		国民健康保険課
■全国健康福祉祭派遣事業【再掲】	【再掲】					介護支援課

■大阪府スポーツ推進委員協議会	0	市町村が委嘱するスポーツ推進委員の資質向上のため、研修等の充実をはかり地域でのスポーツ振興を「ささえる」人材の育成を支援する。	スポーツ推進委員の資質向上及び、地域での活動について発信し、認知度を高め府民のスポーツ参画を促す。	9月21日(土)の府研修会には、358名が参加。8月3日(土)の初任者研修には、35名が参加した。		保健体育課
4 地域でスポーツを楽しむ環境づくり						
■地域で「つくる・はぐくむ・つながる」スポーツコミュニティ連携事業	9,498	人口減少や少子高齢化、総合型地域スポーツクラブ「登録認証制度」等に対応するため、地域や大学、スポーツチーム等が連携した「つくる・はぐくむ・つながる」地域スポーツコミュニティ形成事業を実施するとともに、総合型地域スポーツクラブ等における質の高い指導者の育成や、気軽にスポーツに関する相談や情報交換ができるクラブ間の交流会等の地域スポーツコミュニティ基盤強化事業を実施する。	地域スポーツコミュニティ形成に向けたイベントを計4回実施。また、イベント満足度90%以上をめざす。地域スポーツコミュニティの基盤強化に向けた、指導者研修会の実施。	協力自治体の2市において、スポーツ体験会を中心としたイベントを計3回実施。 ※3月上旬までに、残り1回のイベントと指導者研修会の実施を予定。		スポーツ振興課
■スポーツボランティア養成及び派遣事業	614	スポーツを支えるボランティアの資質向上と新たな人材の育成のため、研修会の実施、府内スポーツイベントへのボランティア派遣等を実施する。	大阪府登録スポーツボランティアの派遣:10事業 ボランティア研修会:1回	大阪府登録スポーツボランティアの派遣:9事業(予定含む) ※1回は開催中止となった。 ボランティア研修会:1回 新規会員3名。		スポーツ振興課
■大阪府立学校部活動指導員配置事業【再掲】	【再掲】					保健体育課
■社会人等活用推進費【再掲】	【再掲】					保健体育課
■大阪府スポーツ推進委員協議会【再掲】	【再掲】					保健体育課

5 スポーツコミッションによる生涯スポーツの推進						
■大阪スポーツコミッション [OSAKA SPORTS PROJECT]事業 (生涯スポーツの振興)	0	大阪スポーツコミッション(OSAKA SPORTS PROJECT)構成チームの主催試合や市町村、民間企業等と連携したスポーツイベントにおいて、スポーツ体験会などスポーツを楽しむ機会を提供。	トップスポーツチームとの連携によるイベントの実施数:30回以上	トップスポーツチームとの連携によるイベントの実施数:54回		スポーツ振興課
■観戦優待事業	0	在阪スポーツチーム等の協力により、チーム主催試合の優待観戦を行い、スポーツ観戦(「観る」)を通じて、府民にスポーツを楽しむことができる機会を提供する。	応募者数4,000人	応募者数:7,596人(11月末時点、R6.12~R7.3実施分について集計中)		スポーツ振興課
■トップアスリート 小学校ふれあい事業【再掲】	【再掲】					スポーツ振興課
2の柱 成長するスポーツで楽しいまちづくり						
1 様々な形のスポーツツーリズムの推進						
■大阪いのち輝く スポーツプロジェクト事業	48,631 ※府市同額	万博を契機として、テクノロジーの活用を取り入れながら、アーバンスポーツを中心に大阪に多くの人を呼び込むスポーツツーリズムを展開することで、スポーツを中心とした大阪の都市魅力の向上・地域活性化を図り、府市連携して大阪の成長を加速させていく。	・イベント参加者数 約40,000人 ・イベント参加者の満足度・万博認知度向上90%以上	府域及び市域のエリアにおいてイベントを計10回程度実施 イベント参加者数:集計中		スポーツ振興課

2 スポーツコミッションによる活力あるまちづくりの推進					
■大阪スポーツコミッション [OSAKA SPORTS PROJECT]事業 (スポーツツーリズムの推進)		府内トップスポーツチーム、スポーツ団体、経済団体等が一体となった大阪スポーツコミッション(OSAKA SPORTS PROJECT)により、スポーツ資源を活用し、スポーツを楽しむ機会を提供するとともに活力あるまちづくりに向けて、スポーツツーリズムの推進に取り組む。	【再掲】トップスポーツチームとの連携によるイベントの実施数:30回以上	トップスポーツチームとの連携によるイベントの実施数:54回 ※新たな取組みとして府立中央図書館(東大阪市)でスポーツミュージアム(各チームの優勝トロフィーや選手が使用した競技用品の展示等)を実施した	スポーツ振興課
■大阪スポーツプロジェクト推進事業		府内トップスポーツチーム、スポーツ団体、経済団体等が一体となった大阪スポーツコミッション(OSAKA SPORTS PROJECT)により、スポーツ資源を活用し、スポーツを楽しむ機会を提供するとともに活力あるまちづくりに向けて、スポーツツーリズムの推進に取り組む。	サイクリングルートの組成:2カ所以上	国庫補助事業不採択のため新たなサイクリングルートの組成は未実施であるが、既存のルートについては各スポーツイベントでのリーフレットの配布による周知活動を行った。	スポーツ振興課
3 産業連携・技術活用による成長するスポーツづくり					
■健康産業創出支援事業		健康寿命延伸産業分野での新事業の創出支援のため「大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォーム(OKJP)」を設置し、健康関連事業を実施する事業者の取り組みを、産学金官が連携してサポートする。	先進的な新事業の発掘	令和6年11月8日に大阪ヘルスケアビジネスコンテスト2024を実施 募集プラン数:37件 参加者数:106名	産業創造課

4 人とまちを活用するスポーツイベントの展開					
■大阪マラソン開催事業	90,000 ※府市同額	大阪マラソンは、参加ランナーが大阪の名所を駆け抜け、大阪の元気や都市魅力を国内外に発信する新しい「お祭り」として2011年にスタートした。 その後2022年2月27日開催の第10回大会から「びわ湖毎日マラソン」と統合し、それまでの市民マラソンとしての面に加え、トップランナーも参加する競技マラソンとしての機能を併せ持つ大会となった。 今後、さらなる魅力づくりに取り組むとともに、大会の国際化を推進することにより、世界トップレベルの市民マラソンをめざす。	海外ランナーの大会満足度：95%以上	現時点で海外ランナーのエントリー数は約9,000人であった。昨年の6,965人に比べ、約2,000人ほどのエントリー数増であることから、海外ランナーの大阪マラソンへの期待が高まっていると考えられる。 来年2月の大会に向け、準備を進める。	スポーツ振興課
■ワールドマスタースゲームズ関西	0	2027年に開催が決定した生涯スポーツの祭典であるワールドマスタースゲームズ関西大会に向けて、イベント等での啓発活動等を実施し、機運醸成をはかる。	組織委員会や府内競技開催市と連携し、イベント等での啓発活動等により、大会の認知度向上、機運醸成を図る	・組織委員会や府内競技開催市と連携し、イベント等での啓発活動等を実施。 ・府内市町村へのチラシ送付（配架用） ・開催市用缶バッジ作成	スポーツ振興課
スポーツ施策の推進体制等の強化(情報発信の強化)					
■スポーツ情報発信事業	1,605	HPやSNS等を使ったスポーツ情報発信により、大阪を訪れる国内外の観光客に対し、試合情報やスポーツ体験等のスポーツ情報を広く発信することでスポーツツーリズムの推進につなげる。	セッション数7,000件/月 (スポーツ大阪)	セッション数：12,683件	スポーツ振興課